

児童発達支援事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和6年2月22日

事業所名 あお

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	10			・今後も療育に適したスペースと環境を整えていきます。
	2	職員の配置数は適切である	10		・その日の状況に応じて、職員を増やすことなどして対応。	・指定基準に則した配置を遵守し、かつ予約状況を見て職員配置を増やすようにしています。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	10		・車いす利用の方は現在いませんが持ち運び可能なスロープを2つ保管しています。(玄関内や園庭に続く出入り口に設置する用で)駐車場から玄関に繋がる所にスロープを設置しています。	・現在の過ごしやすい空間を維持しながら、今後も現状に合わせた配慮を適宜行っています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	10		・療育終了後に毎日掃除消毒を行っている。 ・室内には必要最低限の物を置き、玩具や療育道具は倉庫から適宜出し入れ収納して集中しやすい環境を整えています。	・コロナ5類移行後も、多くの感染症が発生している状況があります。最新の情報を入手しながら、感染症予防や、まん延予防対策などできる限りの対策を講じて利用者様の健康を維持していきます。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	10		・毎月チーム会議を行い、療育の振り返りや目標について話し合うことが出来ている。	・今後も目標設定を行って定期的な振り返りを行っていきます。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	10			・令和5年10月30日～11月17日にて評価を実施。 ・集計回答をした後、令和6年2月末までに、ホームページに載せる。 職員間で結果の共有を行い、業務改善につなげていきます。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	10		・自分自身がホームページを見て確認できていないので、目を通したいと思う。	・令和6年2月末までにホームページにて公開する。 ・公開の際は、法人全体に対してお知らせを行います。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	1	9	・把握できていない。 ・第三者委員会はありません。	・第三者委員会の設置など検討し、今後改善していけたらと考えています。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	9	1	・他事業所で開催された全国障害者問題研究会大分支部学習会に参加しました。(R5.6) ・研修参加できなかった職員に対しても後日資料配布あり。 ・他の児童発達支援で開催されている学習会へ毎月参加している。	・研修に参加する機会を多く持ちたいが、平日は運営上抜けるのは難しい現状がある。ZOOMやYouTube配信など移動時間がかからないものやいつでも見れるものを活用していきたい。 ・働き方改革で、職員の休みも確実に確保して行かなければならない今、研修のあり方を再度考えて行きたいと思っています。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	10			・今後も児発管と利用者様、現場職員と保護者様にアセスメントを適宜行いながら、より良い支援計画の作成に務めます。
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	10		・アセスメントを用いています。	・今後も法人作成のアセスメントツールを活用して利用者様の状態を把握していきます。
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	10			・今後も児童発達支援ガイドラインに則ったより具体的な支援計画を作成するように務めます。

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	10			・今後も支援計画の目標に沿った支援をチームで積み重ね、お子様の発達を促していきます。
14	活動プログラムの立案をチームで行っている	10		・チーム会議にて話し合っている。 ・主担当が立案し、月1回全職員で見直しています。	・年間の療育計画を基礎として、活動を計画し、自立に向けてできることを増やしていく支援を行います。
15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	10			・繰り返しが必要な療育活動もあるが、日々利用児が変わるので、その日のメンバーによって細かな内容を決める事もある。基本的な内容は年間計画に則って行います。
16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成している	10			・今後も個別と集団を意識した療育に勤めます。
17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	9	1	・送迎に出ている職員もいるため必ず全員で打ち合わせをするのは難しいので、各自活動予定表や申し送り簿等を確認し、不明な点は適宜声を掛け合って確認しています。 ・ホワイトボードにその日の予定など書き込んでいるのを見て確認しています。	・就労時間が短い職員もいるので、朝に支援者全員で確認するのは難しいが、できるだけ時間を取って打ち合わせができるようにしている。常勤の職員は、サービス提供時間後に次の日の打ち合わせや準備をする十分な時間が持っています。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
関係	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	9	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・送迎に出ている職員がいるため全員で打ち合わせをするのは難しいですが、残っている職員で振り返りを行い支援方法やお子様のその日の様子等を話し合い、送迎から戻ってきた職員に伝達したり、翌日報告したりして共有するように努めています。</li> <li>・月に一度現場職員で会議を行い、支援の振り返りや気付いた点を共有し、管理者に報告しています。</li> <li>・毎日同じ時間を確保するのは難しいが個別記録やミーティング録の活用でしっかり共有できるようにしている。</li> <li>・後日ではなく、その日に話し、共有するようにしている。また、その場にいらなかった職員にはきちんと伝えるようにしている。</li> <li>・気付いた点などは口答で確認し合い毎日記録を残し振り返っています。</li> <li>・業務終了後話し合ったり、月1～2回のミーティングにて支援方法の見直しにつなげる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後も、事前打ち合わせや情報の共有を積極的に行っていきます。</li> </ul>
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	10		<ul style="list-style-type: none"> <li>・業務終了後話し合ったり、月1回のミーティングにて支援方法の見直しにつなげる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後も、個人の支援計画の目標に沿った記録をとるよう徹底します。</li> </ul>
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	10		<ul style="list-style-type: none"> <li>・最低でも半年に1度はモニタリングを行っています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・予定された期日までに、職員間での評価、見直し会議を行います。</li> </ul>
	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	10			<ul style="list-style-type: none"> <li>・担当者会議には、児童発達支援管理責任者や管理者や担任が参加するようにします。</li> </ul>

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
機 関 や 保 護 者 と の 連 携	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	10			<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者様は保護者様の同意を得て情報交換や情報の共有を行っている。</li> <li>・必要であれば、大分市子ども家庭支援センターや、児童相談所などとも連携を取って支援を行ってまいります。</li> </ul>
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	0	0	・現在医療的ケアが必要なお子様や重症心身障害児のあるお子様のご利用はありません。	※医療的ケア児の利用があった際には、連携を図って支援してまいります。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	0	0	・現在医療的ケアが必要なお子様や重症心身障害児のあるお子様のご利用はありません。	※医療的ケア児の利用があった際には、連携を図って支援してまいります。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	10			・保護者様の要望や必要性に応じて、支援内容等の情報共有と相互理解を図ってまいります。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	9	1		・保護者様の要望に応じて、支援内容等の情報共有と相互理解を図ってまいります。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	10		<ul style="list-style-type: none"> <li>・研修が開催されたときは参加しています。</li> <li>・お子様の担当者会議に他の事業所の方が参加されたときは情報共有や共通した支援を行えるように連携を図っています。</li> <li>・zoomでの研修会 有。</li> </ul>	・今後も積極的に他機関との連携を図ります。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	5	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用児さんの多くは、保育所・認定こども園・保育園と併用しておお利用されていますので、各所で活動する機会があります。</li> <li>・地域の公園に遊びに行った際、近くにある認定こども園のお子様と一緒に遊ぶことができました。</li> <li>・直接的交流はないが通所児が地域の保育園幼稚園こども園に通園しており、そこでの交流している子もいる。</li> <li>・保育園(こども園)幼稚園との併用利用しているお子様が多い。</li> <li>・併用している子どもは交流があります。</li> <li>・併用していない子もいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外出先の公園などに行った際など交流できたらと考えています。</li> </ul>	
29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	1	9	<ul style="list-style-type: none"> <li>・会議等への参加は不十分ですが支援が必要なご家庭とお子様について、保健師と情報共有し、連携を図っています。</li> <li>・参加していません</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・参加していきたいと考えています。</li> </ul>	
30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	10			<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後も、連絡帳や面談など、積極的に保護者との共通理解共通支援ができるよう務めます。</li> </ul>	
31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	7	3		<ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度から参観日を実施し、保護者様と職員が直接療育について話したり考えたり体験したりする機会を持っています。</li> <li>・来年度法人全体で実施するよう計画して行きます。</li> </ul>	
32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	10		<ul style="list-style-type: none"> <li>・契約時、契約書と重要事項説明書を用いて、保護者様にご説明を行っています。また、施設の玄関に運営規程等を掲示しています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後も契約時に児発管や理事から丁寧に説明をしていきます。</li> </ul>	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
保護者への説明	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	10			・今後も変わらず丁寧に対応します。
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	10			・今後も丁寧に対応します。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	5	5	・コロナ禍が明け、今年度より療育参観日週間を設けた。保護者様同士で話をしたり、職員も入って昼食をとったり、保護者同士の交流があった。 ・療育参観を設けた際、終了後場を提供し、保護者同士で交流できるように支援した。 ・分からない。	・現在も新型コロナやインフルエンザ等の感染症が流行しています。今後も利用者様の健康と安全を第一に保護者様同士が交流できる機会を作っていきます。 ・感染症などの流行を鑑みながら、来年度法人全体での開催の方向で準備できたらと考えています。
	36	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	10		・相談の申し入れがあった時は、即日日時調整を行い、(30～1時間)事業所内相談支援を受けている。毎日面談時間も取れるよう入園児にお知らせし、手紙にも記載して分かりやすくしている。	・利用者様や保護者様が、今後も相談や申し入れしやすい環境を提供します。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
明 責 任 等	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	10		<ul style="list-style-type: none"> <li>施設だよりを月一回、活動(行事)のお知らせの手紙もその都度配布、連絡帳を記入し、施設内の様子をこまめに伝えるようにしている。</li> <li>毎月あおぞらだよりを発行し、日々の様子やお願い等を発信している。</li> <li>園だよりを月一回発行しています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>今後も、個人情報には十分配慮しながら、情報の発信をしていきます。</li> </ul>
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	10		<ul style="list-style-type: none"> <li>書庫内に収納するようにしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>今後も、個人情報には十分配慮していきます。</li> </ul>
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	10			<ul style="list-style-type: none"> <li>今後も、必要な時に必要な配慮を職員の共通理解のもと行っていきます。</li> </ul>
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	1	9	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域住民の方々を招待する行事は未開催です。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域の祭りが休日に行われたので参加はできなかったが、地域の為に駐車場や休憩場所として当施設を無償で開放しました。</li> <li>コロナ禍は明けたが、年中感染症等が流行しており行事や施設見学会等の開催を見送っている現状がある。今後も利用者様の健康と安全を第一に、地域交流について検討計画したいと考えています。</li> </ul>

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	9	1	・訓練はしている。	・令和6年4月から業務継続計画の策定が義務化になります。（災害時の緊急事態が発生した時に、損害を最小限に抑え、事業の継続や早期復旧を目指すための計画です。）そこに全てが網羅される形になっていますので、保護者様にも周知したいと考えています。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	10		・季節で想定される避難訓練も取り入れ行っている。 ・定期的に避難訓練を実施しています。	・今後も様々な災害を想定しながら定期的に避難訓練を実施していきます。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	10			・服薬や持病のあるお子様には、事前に飲んでいる薬の情報提供書を提出してもらったり、アレルギーやてんかんなどは検査結果の提出をしてもらい把握に努めています。 ・予防接種は、日々の連絡帳にてお知らせをお願いしています。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	10			・アレルギーのあるお子様には、検査結果の提出と利用前に対応について詳しく聞き取りをしています。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	10			・今後も、事故を未然に防ぐためにヒヤリハットを作成して役立てていきます。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
46		虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	8	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度の開催はまだ、開催参加後は職員の共通理解に役立てる。</li> <li>・今年度の虐待研修は、3月30日に開催する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度も、大分県の開催している虐待研修に法人から1名参加しました。</li> <li>・法人内での虐待研修の開催を年1回は必ず実施しています。</li> <li>・今年度の研修は、令和6年3月30日に開催。</li> </ul>
47		どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	9	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現在身体拘束が必要な利用児はいないです。</li> <li>・どのような場合でもやむを得ず身体拘束を行うことはありません。ですが、活動に集中できるように園庭につながる出入り口のドア等のカギを閉鍵することがある。</li> <li>・お子様の身の安全を守るため(不審者対策を含む)玄関のカギは閉めていることを児童発達支援計画に記載し、保護者様に説明。了承をいただいたうえで計画書に署名していただいている。</li> <li>・身体拘束が必要な子どもは現在、在籍していません。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後も、保護者に身体拘束について分かりやすい例を出しながら面談時に説明して理解を得るよう努めます。</li> </ul>

○この「児童発達支援事業所における自己評価結果（公表）」は事業所全体で行った自己評価です。